

令和7年度 自己評価表

名古屋未来工科専門学校

令和7年度 自己評価表

名古屋未来工科専門学校

1 学校の教育目標

自動車・機械・建築及び情報処理・生命工学を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 個性の伸展
- (2) 資格の取得
 - ア 実社会に適応し得る技術の修得
 - イ 組織人として必要な企業活動への積極的な姿勢の修得
 - ウ 国際的感覚を持った社会人の育成
 - エ 豊かな人生を送れる素養の涵養

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け て方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

日々進化を続ける社会への対応。特にIT分野への対応。

② 今後の改善方策

最新施設の拡充、充実を図るとともに実務経験を持つ若手教員の採用計画。

③ 特記事項

ますます専門分野に精通する真の技術者が求められる時代となり、世の中に通用する若者の育成を追求している。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

効率化という部分においてシステムを活用しきれていない。

② 今後の改善方策

システムを活用しうる人材の育成。

③ 特記事項

事業計画を策定し計画に基づき、運営が行われている。
教育活動等に関する情報公開についても、適切に実施されている。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	②	1

① 課題

部外関係者の評価体制が不十分。
教職員に対する研修が不十分。

② 今後の改善方策

部外関係者評価体制の構築。
研修や学修機会を増やし能力の開発に努める。

③ 特記事項

実務経験豊富な教員を定期的に採用することで、最新の情報を提供できるとともにマンネリ化を防止し、活気ある授業を展開できる。

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

学修成果の発表の場として各学科で卒業発表会が実施されており、2年間の成果を広く共有するとともに、学生一人ひとりが学びを振り返り、自身の成長を実感する良い機会となっている。
また、発表を通じてプレゼンテーション能力や表現力の向上が図られ、学修意欲の向上にもつながっている。

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

学生数の増加および新規コースの設置に伴い、学生支援・就職支援の強化が課題となっている。
 今後は支援体制の強化を図るとともに、就職先の新規開拓をしていく必要がある。

② 今後の改善方策

早期の欠員補充。

③ 特記事項

学生支援・就職支援の一環として学内において企業説明会を複数回実施している。これにより、
 学生が多様な企業や業界に関する理解を深める機会を提供するとともに、進路選択の幅を広げる
 ことに寄与している。

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

自動車整備に関する設備が不十分。逐次導入をしていく必要がある。

② 今後の改善方策

必要な物、不要なものの見極めを行い必要に応じ導入していく。

③ 特記事項

築30年以上経過し、校舎等のメンテナンスがそろそろ必要となる。
PCの新規購入により学生のストレスが解消されている。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適切に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

四大とバッティングする分野ということもあり、四大受験が優先となってしまう。
日本人学生の入学が減少している。

② 今後の改善方策

四大との差別化（資格、就職、面倒見等）をOC等でしっかりとPRする。
特に就職状況について、しっかりとPRする。

③ 特記事項

AO入試においては、本校のアドミッションポリシーに基づいて判断しています。
目的意識や勉学意欲をしっかりと判定していきます。

(8) 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適切に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

ＬＥＤ照明の間引き、エアコン管理、便座の電源制御、職員の巡回点検等により、経費の削減に努めてきた。引き続き、削減意識を持って職員は兼務にあたる。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

自己評価表の事務所に設置し、閲覧申請者名簿に記入・閲覧の継続。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

コロナ以降地域との交流が減。

② 今後の改善方策

積極的に地域貢献を行っていく。

③ 特記事項

大規模震災時の発生から24時間以内の退避施設としての協力。

(11) 国際交流（必要に応じて）

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④ 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1

① 課題

留学生の日本語能力について以前と比し低下しているように感じる。

② 今後の改善方策

入学試験において、しっかりと判断していく。

③ 特記事項

日本語能力の向上および専門知識、技術を身に付けさせるよう教育を実施。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- (1) 学校運営、学修成果、募集、就職支援及び学生指導等を適切に実施している。
- (2) 機械・自動車、建築デザイン、バイオ及びＩＴの各分野で役立つ人材を育成している。
- (3) 細部は別紙事業報告書による
別紙「令和７年度事業報告書」